



Call for Papers CSR とコーポレート・ガバナンス

国際ジョイント・カンファレンス「CSR とコーポレート・ガバナンス」

2013 年 9 月 19～20 日、東京（早稲田大学）

主催：Japan Forum of Business and Society (JFBS)

共催：Humboldt University International CSR Conference (HU CSR) および
Japanese German Center Berlin (JDZB)

学会「企業と社会フォーラム」（JFBS）は「CSR とコーポレートガバナンス」を統一テーマとする国際ジョイントカンファレンスを 2013 年 9 月 19 日～20 日に、そして博士課程学生のためのドクトラル・ワークショップを 2013 年 9 月 18 日に、東京 早稲田大学にて開催致します。

本カンファレンスに、Greenleaf Publishing 社（イギリス、<http://greenleaf-publishing.com/>）の Journal of Corporate Citizenship が付き、今回のテーマの中でとくに、“Japanese Approaches to CSR” については特集号を組むこととなりました。



また、Emerald Group Publishing 社（イギリス、<http://www.emeraldinsight.com/index.htm>）の Journal of Corporate Governance も付き、“Governance and CSR Management in Sport” についても特集号を組むこととなりました。

つきましては、これらのテーマにつきましても、ご応募ください。

プロポーザル提出締切：2013 年 5 月 31 日

■趣旨

現在企業経営において、社会的責任（CSR）はどのように理解され、マネジメントシステムに組み込まれているか？そしてそれがいかに統治されているか？

CSR をマネジメントプロセスに組み込んでいくことが大切であるという理解は広がっている。しかし実際にマネジメント上の課題として捉え、実行し、管理していくためには、経営戦略および事業計画の中に明確に埋め込んでいく必要がある。企業経営者は、多様なステイクホルダーの利害や意見に応えながら、全体として経営し、統治していかなければならない。その意味で、CSR とコーポレート・ガバナンスをいっしょに考えていくことが必要である。

また、CSR に対する日本企業の取り組みについても考える。過去数十年の間に、日本では企業の CSR 活動に対する期待が徐々に高まってきた。日本企業はどの程度、経営プロセスに CSR を埋め込んでいるのか？日本企業はどの程度、グローバルな持続可能な発展に貢献しているのか？について議論する。

併せて、スポーツ産業におけるガバナンスや CSR マネジメントについても考える。現代のスポーツ産業の経営者や役員は、国際的なコーポレート・ガバナンスや CSR を巡る議論について考えていかなければならない。スポーツの商業化が進み、メディアでの扱いや社会からの反響が、スポーツ産業組織に対して、民主的経営や健全なガバナンスに関する新たな圧力をかけている。そして、CSR 指向組織の戦略・行動・コミュニケーションは、スポーツ産業組織がより堅調で競争力を持つために有用である。

カンファレンスにおける報告に向けて、下記の通りプロポーザルを募集致します：

Conference Website: http://j-fbs.jp/annualconf_2013_en.html



■提出プロセス

1つの報告につき、A4サイズ1ページのプロポーザル（キーワード3つを記述のこと）を日本語か英語いずれかで作成のうえ、PDFファイルにして2013年5月31日までにinfo@j-fbs.jp宛てに提出下さい。プログラム委員会による審査を経て、審査通過者はテーマごとのセッションに配置されます（なお、ご報告いただくセッションは、英語のみ、あるいは日本語のみで行われます。同時通訳はございません）。

プロポーザルで扱うテーマは下記のようなものが挙げられますが、これに留まるものではありません：

- 戦略的サステナビリティマネジメント、
- CSRとコーポレートガバナンスの関係性、
- コーポレートガバナンスの比較研究、
- マルチステイクホルダーガバナンスの新しい形、
- CSRあるいは／およびコーポレートガバナンスの未来、
- 責任ある経営と統合レポート、
- 責任あるサプライチェーンマネジメント、
- サステナビリティにかかわる課題と社会における企業。

優れたプロポーザルの提出者は、本カンファレンス終了後に出版される下記書籍／ジャーナルのいずれかに論文を掲載することができます：

— 書籍『CSRとコーポレートガバナンス』（2014年秋、千倉書房より出版予定）
（論文は日本語17,000字／英語8,000 words程度）

— a special issue: *Japaneses Approaches to CSR of the Journal of Corporate Citizenship* (Greenleaf Publishing)
（論文は英語4,000-6,000 words程度）
（詳細は本ジャーナルのホームページ www.greenleaf-publishing.com/jcc 参照のこと）

— a special issue: *Governance and CSR Management in Sport of the Journal of Corporate Governance* (Emerald Group Publishing)
（論文は英語4,000-6,000 words程度）
（詳細は本ジャーナルのホームページ http://www.emeraldinsight.com/products/journals/call_for_papers.htm?id=4564 参照のこと）

論文の提出締切は2014年1月31日です。積極的なプロポーザル提出をお待ちしております。

■ドクトラル・ワークショップ：

本カンファレンスに先立ち、9月18日に開催されるドクトラル・ワークショップについては http://j-fbs.jp/annualconf_program_2013_DrWS.html を参照のこと。

■プログラム委員会

- Joachim Schwalbach (Professor, Humboldt-University of Berlin, Germany)
- Nick Barter (Senior Lecturer, Griffith University, Australia)
- Wanjun Jiang (Associate Professor, Peking University, China)
- Gregory Jackson (Professor, Freie Universität Berlin, Germany)
- 鎗目 雅（東京大学准教授）
- 谷本 寛治（早稲田大学商学学術院商学部教授）



■参加申込み：

http://j-fbs.jp/annualconf_2013_en.html#p4にてお手続き下さい。

7月15日までの間にお申込みおよびお支払い手続きを済ませていただく場合に"Early Bird"（早割）参加費が適用されます。

■ご連絡・お問合せ先

本ジョイントカンファレンスに関するご連絡・お問合せは：

学会「企業と社会フォーラム」（JFBS）事務局

担当：齊藤 紀子

n.saito@j-fbs.jp